

## Windows Vistaに関する注意事項

2009年2月6日  
株式会社 BgenuineTec

Windows Vista を搭載したパソコンにて SDM-V(SD-GATE V Manager) を使用する場合は、下記項目をご確認の上ご使用ください。

### (1) SD-GATE V の IP アドレス設定について

Windows Vista には初期設定状態では Telnet クライアントがインストールされておきませんので、Windows Vista を搭載したパソコンにて SD-GATE V の IP アドレス設定を行う場合は、管理者が手動で Telnet クライアントをインストールする必要があります。(Telnet クライアントのインストール方法に関しましては Windows Vista の Help をご参照ください。)

なお、SD-GATE V の IP アドレス設定のみを Windows XP または Windows 2000 を搭載した別のパソコンで行うことも可能です。

### (2) ユーザアカウント制御の無効化について

Windows Vista を搭載したパソコンにて SDM-V(SD-GATE V Manager) を使用する場合は、ユーザアカウント制御(UAC)の有効/無効の設定状況によりデフォルト状態での SD-GATE V の設定データの格納先が異なりますのでご注意ください。

ユーザアカウント制御が無効になっている場合は、Windows XP または Windows 2000 と同様に、「C:¥Program File¥SDMVDATA¥」および「C: ¥Program File¥SecureDesign¥SDMV\_F¥」に SD-GATE V の設定データが格納されます。

また、ユーザアカウント制御が有効になっている場合はログインユーザ毎のフォルダ(「C:¥ユーザ ¥[ ログインユーザ名]¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program File¥SDMVDATA¥」および「C:¥ユーザ ¥[ ログインユーザ名]¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program File¥SecureDesign¥SDMV\_F¥」)に SD-GATE V の設定データが格納されます。

なお、ユーザアカウント制御の有効/無効を変更すると SDM-V 以外のアプリケーションの動作にも影響を及ぼす場合がありますのでご注意ください。

以上